

●CPRチームの紹介

CardioPulmonaryResuscitation CPR TEAM

CPRとは心肺蘇生法のことを指し、呼吸が止まり、心臓も動いていないと見られる人の救命へのチャンスを維持するために行う循環の補助方法です。

当院では院内での救急事例に全職員が迅速かつ適切に対応できるよう2019年4月からCPRチームを発足し活動を行っています。

チームメンバーは院長である小島廉平医師・看護師・診療放射線技師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士からなる11名で構成されています。

全職員が適切な胸骨圧迫やAEDを使ったBLS(一次救命処置)ができるよう月に1回実技研修を行っています。講師はチームメンバーが院外研修に参加し技術習得したのちに務めています。

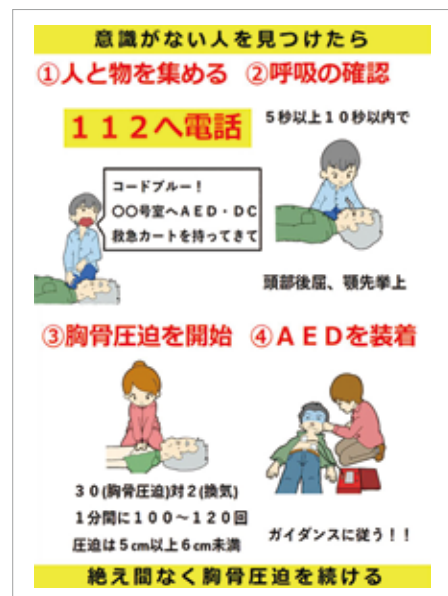
現在はACLS(高度な医療機器や薬剤を使った二次救命処置)の院内研修に向けて動画撮影や実技訓練を行っています。

チーム会議では今後活かせるよう院長指導のもと院内コードブルー事例の振り返りなどを行っています。

急変時はチームワークがとても重要です。院内チームワークが強化できるようにこれからも努力していきます。



BLS訓練の様子



院内各所に掲示

●認知症ケアチームの紹介

DEMENTIA CARE TEAM

病院職員が認知症を理解し、入院中に認知機能やADL(日常生活動作)を低下させることなく、できるだけ速やかに、住み慣れた元の生活に戻れることを目的として、2016年に認知症ケアチームが発足しました。

チームメンバーは、医師、看護師、社会福祉士、薬剤師、栄養士、理学療法士と多職種で構成されています。

本年度からは当院脳神経内科医である理事長がメンバーに加わり、パワーアップして活動しています。

活動内容は、月1回の頻度でチーム活動を開催し、症例検討などを行っています。また、適切な薬剤使用の検討や勉強会なども行っています。

今後は、認知症を受け入れる患者さん・ご家族への支援を目的として、パンフレットの作成などを行っていききたいと思います。



研修医の紹介

当院(小島病院)は日本泌尿器科学会専門医教育施設認定病院となっており、中国中央病院から研修医の受け入れを行っています。9月は深尾小百合医師が当院で研修を受けました。

大口副院長(左)、深尾医師(中)、宮本泌尿器科副部長(右)⇒



研修を終えて

中国中央病院 研修医 深尾 小百合

1か月、泌尿器科の研修でお世話になりました、中国中央病院の深尾です。

泌尿器科は当院(中国中央病院)にはなく、尿管結石の初期対応はするものの、そのあとの治療は貴院(小島病院)などに紹介する状況で、詳しい治療方法に触れる機会がありませんでした。そんな中で、泌尿器に強いこの病院で研修生活が送れたことは非常に実りのあるものでした。例えば尿路結石にも治療方法はさまざまあり、衝撃波を当てても石がなかなか壊れないことや、石を取っても今度はもっと大きな石ができたりと一筋縄ではいかない症例を診ることができました。

担当していただいた大口先生、宮本先生、非常勤の後藤先生をはじめ小島病院の皆さまには、本当にお世話になりました。外来、回診、手術、どれもとても楽しく研修させていただきました。

1か月という短い間でしたがたくさんのことが経験できました。学ばせていただいたことを来月からの研修に活かせるようにしたいと思います。ありがとうございました。

教育委員会から

新入職員研修会を開催しました

日時:2020年7月3日(金)、10日(金)



原診療部長が診療部の紹介を行っています



研修終了後、新入職員と教育委員会メンバーで記念撮影をしました

毎年恒例の新入職員研修会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の一環で、参加者を2日に分けて開催し、また、プログラムも時短バージョンで行いました。

新入職員同士の自己紹介や、理事長、院長からのメッセージをはじめ、病院各部門、各事業所の紹介などが続きました。

参加した新入職員からは、「院長のメッセージが心に響きました」「職員の心得10句を心得ます!」「各部署の業務内容が知れて良かった」などの感想や、「コロナが落ち着いたら是非親睦会をして欲しいです」などの希望が研修後のアンケートに書かれてありました。また、新入職員ならではの視点で、業務改善の提案などもあり、早速取り組んでいきたいと思っています。